

<b>事業名</b>	アンコールワット国際ハーフマラソン事業
<b>分類</b>	スポーツを通じた開発支援(大会運営協力&組織化支援)
<b>協働団体</b>	カンボジアオリンピック委員会(NOCC)、カンボジア陸上連盟(KAAF)、カンボジア観光省
<b>活動概要</b>	
<p><b>大会趣旨:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界に向かって「非人道的な対人地雷の使用禁止」を訴える。</li> <li>・大会エントリー費用は義手義足支援と、地雷被災者の社会復帰・自立を支援するとともに、青少年エイズ予防支援活動等に使用。</li> <li>・健常者だけでなく、障がい者も、共に走ることを通じて、勇気と希望を与える。</li> <li>・カンボジアに対する世界各国からの支援に対し、感謝と元気なカンボジアを訴求する。</li> <li>・公認及び協カツアの旅行代金の一部とその他寄付をカンボジアのスポーツ振興に役立てる。</li> </ul> <p><b>テーマ:</b> 「Building a better future – Aid for children and disabled in Cambodia」</p> <p><b>主催:</b> カンボジア陸上競技連盟(KAAF)、カンボジアオリンピック委員会(NOCC)、カンボジア観光省</p> <p><b>主管:</b> カンボジア陸上競技連盟(KAAF)</p> <p><b>運営:</b> アンコールワット国際ハーフマラソン組織委員会・実行委員会、Cambodia Events Organizer Co., Ltd.</p> <p><b>後援:</b> カンボジア政府、シエムリアップ州、観光省、文化・芸術省、教育・青年・スポーツ省、在カンボジア日本国大使館、ハート・オブ・ゴールド、在日本カンボジア大使館、APSARA Authority、カンボジア赤十字、カンボジアトラスト、ハンディキャップ・インターナショナル、Angkor Hospital for Children、Royal Angkor International Hospital</p> <p><b>協賛:</b> Manulife、メタウォーター、CAMBREW LTD.、Park Hyatt Siem Reap、Smart Axiata Co., Ltd.、Sponsor、Apsara Angkor Resort &amp; Conference、ANGKOR SAYANA HOTEL &amp; SPA、ロイヤルアンコール国際病院</p> <p><b>日時:</b> 2014年12月7日(日) 午前6時30分スタート</p> <p><b>種目:</b> ハーフマラソン(男女/車椅子男女)、10km ロードレース(男女/義足男女/義手男女)、3km ファン・ラン(オープン)</p> <p><b>コース:</b> アンコール遺跡周回特設コース(AIMS 公認)</p> <p><b>プレイベント:</b> ・【コースチェック(12/6)】 運営:CE ・【前夜祭(12/6)】 運営:観光省、CE</p> <p><b>エントリー:</b> オンラインエントリー(GAA 委託)、現地登録 CE</p> <p><b>参加者:</b> 8,271 人 79 の国と地域 ※参加者、参加国ともに過去最高。</p> <p><b>チャリティ:</b> 本年度:US\$19,400(カンボジア赤十字、カンボジア・トラスト、ハンディキャップ・インターナショナル、カンボジア障がい者陸連、HG)</p> <p>第1回大会(1996)から第19回大会(2014)までの合計:US\$333,217</p>	
<p><b>特記事項:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 有森代表は'96年の第1回大会から参加し、HGとしては'98年から特別運営協力を行ってきた。18回大会を迎える'13年にカンボジア側に広報、準備、資金調達、会計、運営を全面移譲した。カンボジア人の手による2回目の本大会は、スタート時に10kmのスタート方向を変更したため、運営側、ランナーが混乱してしまうという事態や3km及び5km地点の給水所の位置が分かりにくかったため、ランナーが交錯してしまうという問題が生じた。幸い大きな事故にはならなかったが、大会運営側も今回の問題を認識しており、次回以降対応していくとのこと。前年のメダルの授与等への対応は問題なかった。</li> <li>● 全盲の星純平さん(伴走:加藤将士さん)が、1時間25分43秒という記録で、21km全体の中で7位に入賞。</li> <li>● HGとしては、日本からツアーとして25名が12月4日からカンボジアを訪れ、有森代表理事を含む全員での歓迎パーティ、エイズ撲滅の願いを込めたウォーキングイベント、ニュー・チャイルド・ケア・センター訪問、ランニングクリニックやJICAとの共同事業で実施している小学校体育科教育普及事業視察、アンコールワット国際ハーフマラソン等に5日間・6日間コースに分かれて参加した。</li> <li>● 来年度は20回記念大会を迎えるため、より多くの企画と参加者が期待される。</li> <li>● 有森賞(かすみがうらマラソンへの招待、2015/4/19開催):10km女子4位 Heng Meyjou と義足10km男子2位 Orn Sok Heng の2名。</li> </ul>	
<p><b>支援・協力団体:</b> 吹田中ノ島チャリティラン、かすみがうらマラソン、(株)かねふく、(株)RIGHTS.、JTB 中国四国岡山支店</p>	
  	
<p>7位入賞の盲人ランナー星さんと伴走者の加藤さん</p>	

